

原発避難者に介護知識

東電パートナイズ 都内で無料講習

東京電力子会社で介護事業を手がける東電パートナイズ（東京・江東）は東京都江東区や江東区

社会福祉協議会と共同で、福島第1原子力発電所事故の避難者らに介護知識を無料で教える活動

を始めた。既に介護資格を持つ人には区内や福島県内での就職先も紹介。避難生活や帰宅後の生活

設計を支援する。

まず福島県内から約1200人が避難している江東区内の公務員宿舎「東雲住宅」で、5月から介護知識の勉強会を始めた。東電パートナイズの職員が指導員を務め、第1弾は「腰を痛めない」

がテーマだった。

1回3時間の4回構成で「ベッドでの体位変換」などの基礎的な介護の方法を指導する。今後は半年に1回程度のペースで開催していく計画だ。同社が手がける介護職紹介事業のネットワーク

を活用し、無料の就職相談会も開催する。仕事の

内容や給与などを説明した上で江東区や福島県の介護施設を紹介する。東電パートナイズでは今後、避難者が住む他の自治体とも協力を進めていく考えだ。